学校だより
さくら

令和７年
７月号
７月１日発行

教育目標
やさしさ つよさ たくましさのある
さくら小の子

大島町立さくら小学校
〒100-0102 大島町岡田字長坂 113
電話 04992-2-8021 ファクシミリ 04992-2-8853
E-mail 02T000@izu-oshima.ed.jp
大島町立さくら小学校 検索

成長を実感する月に

校長　野澤　啓幸

梅雨明けが近付き、朝晩の気温も上がってきました。大島固有のガクアジサイ「大島緑花」や、酸性土壌が育む青色のアジサイが彩っている景色も、まぶしい日差しや暑さが増すのと比例するように、これから更に緑が深まり、力強い成長を感じさせる夏の姿になります。新学期を迎えて３か月が過ぎたさくら小の子供たちも、自分で試行錯誤したり、友達と協力して活動したり、時には担任を始めとした教職員の支援を受けながら、一人一人が成長した姿を見せています。

先日、４・５年生が岡田港で都立海洋国際高校の実習船、大島丸の見学をしてきました。最初にスペースが限られた船上・船内での敬礼の仕方を全員で学び、その後は、船内の見学、ロープワークや消火訓練、プランクトンの観察を子供たちは班に分かれて体験しました。

「階段が急なのはスペースを使わないためだ」という気付き、ロープを結べた時の笑顔、消火訓練で感じた放水時の反動の大きさへの驚きの表情としっかりと保持しようとする真剣な表情、電子顕微鏡でプランクトンを見つけた時の歓声、見学の感想を懸命に書く姿など、興味をもって意欲的に取り組んでいることが分かる子供たちの反応を、船員の皆さんも優しい笑顔で見守ってくださいました。そして、私が子供たちの最後尾で下船しようとしたところ、海洋国際高校の副校長先生に呼び止められ、子供たちの反応の良さを褒めていただきました。

自分が感動したことを素直に表現する、説明されたことに対してうなずいたり、質問をしたり、聞かれたことに自分なりに答える。もちろん全員が全てをできていたわけではありませんが、一人一人の良さが発揮された見学となりました。

楽しみな夏休みまでの期間、各学年で１学期の学校生活を振り返りながら、子供たち自身が自らの成長を自覚し、新たな目標をもつことができる、まとめの時期となるよう指導してまいります。ぜひ、ご家庭でも日々の生活の中で感じる子供たちの成長を価値付ける言葉をかけてみてください。その言葉が子供たちの更なる成長への意欲や勇気につながります。

「言葉の力」

【７月の生活目標】言葉づかいにきをつけよう

７月　生活目標担当　薊　優介

「言葉は心を表す鏡」自分の口から出る言葉には、自分自身の気持ちや考え方を決めてしまい、行動に影響を与える力があります。たとえば「どうせ無理」と言えば挑戦する気持ちは生まれにくくなってしまいます。でも「やってみよう」と言えば、前向きな気持ちが生まれます。人に対しても同じです。やわらかい言葉、温かい言葉は相手の気持ちもやわらかく、温かくし、信頼や安心が生まれます。反対に乱暴で人を傷つけるような冷たい言葉は嫌悪感や敵対心を生んでしまいます。

さくら小学校の子どもたちにもこのことを伝え、前向きな言葉、やわらかくて温かい言葉を大切にし、自分もまわりも前向きにできるようにみんなで心がけていけたらと思います。ご家庭でもぜひ、お子様の言葉づかいに耳を傾け「言葉の力」について話題にしてみてください。

「気になっていることはありませんか？」

特別支援教育担当　中山　開

日頃お子さんの様子を見ていて学習面や生活面で気になることはありませんか？「字の形がなかなか整わない。」「何度言っても忘れ物がなくならない。」「相手の気持ちを察することができない。」など、きっと気になることが全くない！という保護者の方の方が少ないのではないでしょうか。もしかしたら、それらの心配事もその子に合った支援をすればできるようになるかもしれません。

特別支援のニーズの高まりとともに、平成３０年度で都内全校導入完了し特別支援教室が設置されるようになりました。あおば教室はその特別支援教室です。あおば教室では先に述べたような児童の困り感や保護者の方の困り感に合わせて、個別や少人数で指導する教室です。子供たちのそれぞれの特性に合わせて、週に１時間～４時間程度、教室を離れて指導を受けます。

全国で発達障害の可能性がある児童生徒の割合は８．８％（令和４年文科省調査）とされています。大島町における特別支援教室の利用者の割合は６．７％です。もしかしたら、まだ支援を必要としている子がいるのではないでしょうか。子供たちの困り感や情緒的な問題は心身の成長にともなって改善されるという研究があります。しかし、そのような困り感を抱いたまま過ごしていると、「自己肯定感の低下」や「自信の喪失」「無気力」などにもつながり、他の困り感につながってしまうこともあるのです。適切な支援を適切な時期に受けることで困り感が軽減された事例も多数報告されています。ぜひ、少しでも困ったなぁということがありましたら、担任や特別支援担当までお気軽にお声かけください。

【大島の主な相談機関】（もっと詳しく知りたい・相談したい・・・以下の専門機関につなげることもできます。）

相談機関	場所	内容
教育相談会	大島町教育相談室 大島町生涯学習センター・郷	日頃の子育て等の相談や心理検査（WISC）の希望・依頼　等
児童・思春期精神科 発達外来	大島医療センター	児童の精神面での心配事等を相談できる窓口 （心理検査はできない）
わかば相談	大島町生涯学習センター・郷	学校・職業・育児・家庭生活　等　保護者の相談も可
ことばの相談室 ぶばりあ	大島けんこうセンター	言葉の詰まり、発音の困難さ、計算はできるが文章題ができない　等

絆を深めた２日間～自然教室～

5年担任　樋口　絵里子

5年生は、6月19日・20日の２日間、自然教室で海のふるさと村に行きました。子供たちは、以前からこの日を楽しみにしていました。

今回の自然教室では、友達と協力する事はもちろん、総合のテーマである「食」についても学ぶ時間となりました。ゲストティーチャーによる「塩づくり」体験や、自分たちで作ったアイスクリーム・カレーライス。応援に来てくださった先生方と一緒に作ったご飯は大成功。

２日目は海のふるさと村の雨宮村長さんが準備してくださった「宝探し」のオリエンテーリングを楽しみました。一つひとつのミッションを相談しながら仲良くクリアしていました。今は、学んだことを４年生に伝えようと、準備を進めています。

先生方、地域の方々など、たくさんの人々に支えられた自然教室は、子供たちにとって大切な思い出となったようです。表情が凛としてきたように感じます。自然教室を通して絆を深めた子供たち。今回学んだことを、今後の生活にどんどん生かしていこうと話しました。学級の目標の達成に向け、引き続き一致団結していこうと思います。

行事予定はホームページで公開しています→
（事務室前に、行事予定を印刷したものを用意しています。必要な方は、ご自由にお取りください。）